

2008年10月29日
矢崎総業株式会社

人工知能の音声ガイドで運送事業者の燃料コスト削減を強力にサポート
更なる燃費向上を実現する『省燃費デジタコDTG4 - AI』新発売
アルコール検知器と連動した「飲酒運転防止機能」も新たにオプション追加

矢崎総業株式会社（社長：矢崎信二、資本金：31億9,150万円、本社：東京都港区）は、燃料価格の高騰を受け、運送事業者の省燃費に対するニーズが非常に高まっていることから、当社製の高機能型デジタルタコグラフ『DTG4』（2008年3月発売）に「省エネAI（人工知能）機能」を搭載して更なる燃費向上を実現する『省燃費デジタコDTG4 - AI』を開発し、11月21日より全国一斉に発売します。

価格は、従来機と同じ126,000円（本体/消費税込み）です。

なお、今年3月1日に発売した『DTG4』を既に取り付けているお客様に対しては、今回開発した『省エネAI機能』（プログラム）を特別価格で提供します。

デジタルタコグラフ（デジタル式運行記録計）は、速度やエンジン回転数、急加速・急減速など、車両の運行データを0.5秒単位で記録・分析できることから、運送事業者はこのデータをもとに個々のドライバーに省エネ運転を指導し、平均15%程度の燃費改善を実現しています（当社調べ）。

しかし、昨今の燃料価格の高騰により、運送事業者からはより一層の燃料費削減の要望があることから、当社は燃費向上に直結する「省エネAI機能」を開発しました。

これは、センサが収集した車両速度、エンジン回転数、アクセル開度の情報をAI手法で解析し、最適なシフトポジションやアクセルワークをリアルタイムに音声で指示。「アクセルの踏みすぎです!」、「シフトを上げてください!」といった音声ガイドで更なる燃費の向上を実現するものです。

当社が実施したモニター調査では、デジタコを導入して、約15%の燃費改善を実現したお客様（デジタコ導入歴8年）でも、今回の新機能により、更に6%の燃費改善が見られました。

当社の『省燃費デジタコDTG4 - AI』は、車種や車型を限定せず、どんな車両にも取り付け可能で、アフターマーケットでの取り付けも可能なため、運送事業者にとっての訴求力は高いと考えています。また、低価格であることも大きな特長です。

更に、今回発売する『省燃費デジタコDTG4-AI』には、**運送事業者の飲酒運転撲滅の取り組みをサポートするため、東海電子株式会社製のアルコール測定管理システム「ALC-PRO」と連動した飲酒運転防止機能「SDアドバンス」を新たにオプションで追加しました。**

デジタルタコグラフとアルコール測定管理システムとを連動させることで、飲酒運転の未然防止を図ります（機能の詳細は後述）。

「SDアドバンス」の価格は、52,500円（消費税込み）です。

【デジタルタコグラフとは】

大型トラックやタクシーに法律で搭載が義務付けられている機器で、日本語に訳すとデジタル式運行記録計となります。車両の速度やエンジン回転数、加速度（急加速や急減速など）、走行中のギアの状態など、搭載車両の走行状態をデータで収集、記録します。

タコグラフは、運行状況を記録しドライバーに対して安全運転を指導する目的で導入されましたが、デジタル化したことにより、詳細な運行データを収集することが可能になり、当初の搭載目的であった安全運転指導以外に、省エネ運転指導にも活用されるようになりました。

デジタルタコグラフを導入して省エネ運転指導をすると、平均で15%程度の燃費改善が図れることが実証されています（当社調べ）。

【開発背景】

<燃費向上>

近年の燃料費の高騰は、産業界全体を巻き込んで社会問題となっています。とりわけ運送事業者の経営には多大な影響が出ており、燃料費をいかに削減するかが改めて問われています。

デジタルタコグラフを導入した運送事業者は、収集した運行データをもとにドライバーに省エネ運転を指導し、燃費改善を実現しています。

しかし、燃料費の高騰は、相変わらず厳しく、更なる燃費改善効果をデジタルタコグラフに求めるユーザーの声が高まっていました。

<飲酒運転撲滅>

一方、近年、トラックやバスなど大型商用車の飲酒運転に起因する高速道路上での重大事故がマスメディアで大きく報道され、飲酒運転が社会問題化しました。

このような状況を受け、国は道路交通法を改正して飲酒運転関係者への罰則を強化し、トラック・バス業界においては、飲酒運転防止に関するマニュアルを策定するなどして、飲酒運転撲滅に向けた取り組みを強化しています。

長年、トラック・バス・タクシー事業者へタコグラフをはじめとする『安全』を実現する機器・システムを提供してきた当社は、飲酒運転撲滅に寄与する商品を開発し普及

させることが社会貢献になると考え、デジタルタコグラフのシェアナンバー1の当社製DTG4と、アルコール検知器シェアナンバー1の東海電子(株)製ALC-PROのシステム連動を実現しました。デジタルメーカーとアルコール検知器メーカーの連動は、『業界初』の取り組みです。

機能の詳細は、以下の通りです。

【省燃費デジタルDTG4-AIの特長】

1. 省燃費支援機能(AI)の搭載により、車輛の燃費に最適なシフトポジションやアクセル操作をリアルタイムに音声で指示する事ができ、更なる燃費の効果が期待できます。既に通常のデジタルコを導入し燃費改善できたユーザーでも、更に6%の効果実績があります(当社調べ)。
また、AI(人工知能)により、車輛の状態に合った最適な状態を学習する機能を持っており、これまでの省燃費機器のような長期間のモニタリングは不要です。
2. アルコール検知器(東海電子(株)製)との連動で、飲酒運転をダブルチェックします。出庫(点呼)時のアルコール測定結果を省燃費デジタルコの運行カードに記録できるので、アルコール測定をしないまま出庫しようとしたり、測定結果がNGなのに、出庫しようとしたドライバーに対して、省燃費デジタルコが音声で警告します。
また、測定結果は、安全運転日報に印刷でき、飲酒運転の撲滅に寄与します。
3. 交通事故の多発地点や危険な地域に接近すると省燃費デジタルコに搭載したコンテンション機能により、危険が近づいている事を事前にドライバーに音声で警告します。ドライバーに注意を喚起し、事故を未然に予防します。
4. Gセンサ(オプション)との連動により、これまでデジタルタコグラフでは不可能だった「事故解析」ができるようになりました(アナログタコグラフは、衝突などの衝撃で針が物理的に大きく振れ、チャート紙に記録されることから、事故を解析することができます)。
5. アクセルセンサの採用により、これまで下り坂などで発生していたエンジン回転オーバーを運転評価の対象外とする事が出来るようになり、適正かつ、公平な評価を実現しました。

【製品概要】

1. 商品名及び標準販売価格

- 省燃費デジタルコDTG4-AI 126,000円(本体のみ/消費税込)
- アルコール検知器『ALC-PRO』 260,400円(消費税込)
- 省燃費(AI)用アクセルセンサ 31,500円(消費税込)
- SDアドバンス(オプションソフト) 52,500円(消費税込)
- Gセンサ 15,750円(消費税込)

2. 発売日

2008年11月21日

3. 初年度販売計画

30,000台/年(本体ベース)

【製品写真】



省燃費デジタコDTG4 - AI 本体(下)とAI表示機(上)

以上

この件に関するお問い合わせ先

矢崎総業株式会社 広報部
Tel . 055 - 965 - 3002
Fax . 055 - 965 - 0450
〒410 - 1194 静岡県裾野市御宿 1500 Y-CITY
ワールドハットクォーターズ